

小学校第 4 学年 図画工作科学習指導案

日 時 平成 28 年 6 月 21 日 (火) 2 校時
指導者 教育センター所員 楨原 さゆり

1 題材 「ふしぎな世界をつくろう ～世界に一つのもよう紙を使って～」

2 題材について

小学校学習指導要領図画工作の指導計画の作成と内容の取扱いにおいて、「A 表現」の指導には、児童が友達とともに活動することを楽しむ傾向を生かし、適宜共同して製作する内容を取り入れることを示している。そして、言語活動の充実の観点からは、図画工作科においても、「話したり聞いたりする」「話し合ったりする」などの学習活動を位置付けることが求められている。

平成 25 年国立教育政策研究所の特定の課題に関する調査では、図画工作科の授業改善に向けて「A 表現」の指導において、「造形遊びや鑑賞の活動との関連を図りながら、発想や構想の力を育成する学習指導の充実」を提言している。具体的には、造形的な特徴をとらえ自分のイメージをもつことの指導や、表現の始まりや過程における発想や構想の能力を育成する指導、共に学び高め合う場としての指導の充実が示されている。

本題材は、学習指導要領の A 表現 (2) イ「表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと」と [共通事項] (1) イ「形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと」に基づいている。絵の具を使ったいろいろな技法で模様を付け、その紙を使いコラージュの技法を用いて絵に表す学習である。絵の具と材料で作られる思いもよらない偶然的な模様により、表現の面白さを味わわせ、発想の広がりや期待できる題材である。また、模様紙を使ってコラージュで表す造形活動の過程においては、友達と模様紙を交換したり、アイデアを出し合ったりして作品を完成させていくので、互いの試みにも自然と関心が向き、多様な関わり合いができる題材ともいえる。

中学年の児童は、表現活動も行動力も活発である。ある程度、物事を関連付けて考えられるようになり、自分の考えを大切にしたり、気に入った活動を意欲的に追求したりするようになる。また、夢や願いを描いたり、冒険心に富んだ表現を試みたりするなど、創造力を働かせることを一層楽しむ姿が見られる。自分の表したいことに合わせて、材料や用具を使うことができるようになり、同時に、自分を中心としながら他者とのつながりも見られ、友達の発想やアイデアを利用したり、表し方を教え合ったりするなど、周りとの関わりも活発になってくる。

そこで本題材では、児童の材料や友達と関わる中から生まれる気付きやイメージを大切に、自分の表したいことが明確にできるような展開を工夫していきたい。色や表現の仕方について一人一人の気付きやイメージを交換する交流活動や、話し合いながら一つの作品に仕上げしていく共同での製作活動を取り入れたいと考える。材料を自由に操作しながら発想して模様紙を作り、その形や色から更に発想してコラージュで表すというように、発想が次々と連続する過程において、思い付いたことを出し合い、友達と共に作り出す、関わりある授業を目指していきたい。

3 題材の目標

絵の具でいろいろな表し方を試しながら作った紙を使い、形や色、組合せを考えながら工夫して絵に表す。

4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
①模様作りのいろいろな技法に興味をもって取り組もうとしている。	①お気に入りの表現を生み出すために、材料や技法の使い方を思い付いている。 ② 不思議な世界のイメージに沿って、作品の組み合わせを考えている。	①模様や色，そこから受ける感じを生かして表し方を工夫している。 ②イメージに近づくように、重ね方、組み合わせ方を工夫して表している。	①友達と紙を交換したり，仲間分けしたりしながら，表現の面白さを感じ取っている。 ②自分や友達の作品から，よさや面白さを感じ取っている。

5 題材の指導計画と評価規準(全7時間)

過程	時間	学習内容	評価規準・評価方法
思いをふくらませる	1	○模様紙を作る方法を考え，活動の見直しをもつ。	(関1) 模様作りのいろいろな技法に興味をもって取り組もうとしている。 (観察・ワークシート)
	2	○これまでの経験を生かし，新たな方法や材料の使い方を組み合わせながら，いろいろな模様の紙を作る。	(想1) お気に入りの表現を生み出すために，材料や技法の使い方を思い付いている。 (観察・作品)
	3	○自分や友達の作った模様紙の模様や色のよさを感じ，交換したり，仲間分けしたりして楽しむ。	(鑑1) 友達と紙を交換したり，仲間分けしたりしながら，表現の面白さを感じ取っている。 (観察・発言・ワークシート)
思いを表す	4 5 【本時】	○「不思議な○○」のイメージを膨らませ，模様紙の模様を生かしながら，コラージュで表す。	(創1) 模様や色，そこから受ける感じを生かして表し方を工夫している。(観察・作品) (創2) イメージに近づくように，重ね方，組み合わせ方を工夫して表している。(観察・作品)
	6	○自分と友達の作品から，グループの表したいものに近づくように工夫しながら表す。	(想2) 不思議な世界のイメージに沿って，作品の組み合わせを考えている。(観察・作品)
味わう	7	○自分の活動を振り返り，互いの作品を鑑賞する。	(鑑1) 自分や友達の作品から，良さや面白さを感じ取っている。 (観察・発言・ワークシート)

6 本時の目標

グループの作りたい世界に合うものを考え、模様紙を重ねたり、組み合わせたりして、コラージュで表すことができるようにする。

7 指導の視点

模様紙の「組み合わせ」による「不思議な〇〇」をコラージュで表わす。「模様」「色」の感じを生かし、「重ねる」「組み合わせる」技法により、不思議なものが作り出される楽しさを味わわせる。

《視点1》 前時に製作した児童作品、作品例、模様チャートを基に、模様紙の組み合わせ方を考えさせることにより、自分の思いに近づく表し方を見付け、コラージュにして表すことができるようにする。

《視点2》 友達との交流の場を設定する。製作の導入では、ビニールがさを「〇〇の世界」に見立てて話し合い、個々の作品を集合させる場、途中では、互いのイメージや活動を確認する場、終末では、お互いのよさを鑑賞する場を設定する。グループの考える世界に合うイメージを膨らませたり、いろいろな発想や表し方があることに気付かせたりして、共に作り出す喜びを味わわせる。

8 本時の展開

過程	学習活動	教師の働きかけ（・）	準備
つかむ	1. 前時の学習を想起する。 2. 他の組み合わせの方法を知る。 3. 本時のめあてを知る。	・前時の学習を振り返り、自分で作った2枚の模様紙を使って、コラージュで表したことを想起させる。 ・児童の作品を参考に、「模様」「色」の感じを生かし、「重ね」たり「組み合わせ」たりしてコラージュする方法を知らせる。	電子黒板 児童作品
	もようや色をかさねて、組み合わせ、 「ふしぎな〇〇」 をつくろう。		
ひろげる	4. 製作のイメージを広げる。 （作戦タイム1） ① ビニールがさのどこにかざったらよいか、そうしましょう。 ② 決まったら、テープではる。 ③ グループの考える世界に「いたらしいな」「あつらしいな」を そうしましょう。	・ビニールがさに、前時で作った作品をテープで貼らせる。かさのビニール部分を1つの世界に見立て、自分たちの不思議なものが集まる世界に「いたらしいな」「あつらしいな」について話し合わせる。	ビニールがさ 電子黒板（作戦タイム1）
あらわす	5. 自分の考えた「不思議な〇〇」をコラージュで表す。	・作戦会議で話し合ったことを基に、「不思議な〇〇」を作らせる。 ・製作の約束を知らせ、グループで相談しながら作っていくことを伝える。	台紙用画用紙 集めた模様紙のり はさみ

ふ り か え る	<p>① 製作する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> (つくるやくそく) 1. 台紙に、大きく表そう。 2. できたら、どこにかざるか、そう だんしてからかざろう。 ○もよう紙をこうかんできるよ ○2枚以上、組み合わせてみよう ○そうだんしながらつくってみよう </div> <p>② グループで活動の確認をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> (作戦タイム2) 1. 今つくっている作品はどこにかざ ろうかな。 2. お友だちはこまっていないかな。 3. ほかにつくれるものはないかな。 </div> <p>③ 作品を仕上げる。</p> <p>6. 本時の学習を振り返り、次時の 活動について知る。</p>	<p>【創造的な技能】</p> <p>◇イメージに近づくように、重ね方、組み 合わせ方を工夫して表している。 (観察・作品)</p> <p>A 選んだ模様の特徴を生かした切り方、 重ね方や組み合わせ方を工夫して表して いる。</p> <p>B イメージに合った模様を選び、組合せ たり重ねたりしながら表している。</p> <p>◆友達の活動や提示された作品を見せ たり、一緒に考えたりしながら助言する。</p> <p>・今作っている作品をどこにかざる予定か、進 んでいない友達へのアドバイスなど、グルー プで製作状況の進み具合を確かめ合させる。</p> <p>・友達の表現や工夫を参考に、今日の作品を仕 上げさせる。</p> <p>・友達の「模様」「色」「重なり」などのいいと ころを見つけ、付箋に書いて伝えさせる。</p> <p>・活動の良かったところを認め、次時への意欲 をもたせる。</p> <p>・次時は、自分たちの世界の仕上げをすること を伝える。</p>	ワークシート 付箋
-----------------------	---	--	--------------

 …評価
 評価規準…A十分達成、Bおおむね達成 ◆…達成不十分な児童への支援